



富士ワイズメンズクラブは「**社会を明るくする運動富士市推進委員会**」の加盟団体です

国際会長主題	A・シャナヴァスカーン	より良い世界のために、共に
アジア太平洋地域会長主題	ジョウン・ウォン	大きなインパクトを起こそう
東日本区理事主題	山田公平	ワイズの方向を見極める
富士山部部長主題	相磯優子	たゆたえども沈まず
富士クラブ会長主題	仁藤斎浩	広げよう 楽しい活動 思いやりの心

会長	仁藤斎浩
副会長	増田 隆
書記	増田 隆
会計	岩辺富雄
直前会長	吉澤廣美
担当主事	金井 淳

2025年

3月

会報

協調月間

CS

★2025年3月例会★

巻頭言

と き 2025年3月12日(水) 18:30～
 ところ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
 受付 仲澤昭夫君
 司会 増田 隆君

寒波のあとの難破？

監事 仲澤昭夫

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 開会点鐘 | 仁藤斎浩会長 |
| 1. 開会の挨拶 | 岩辺富雄君 |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条 | |
| 1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和 | |
| 1. 会長挨拶 | 仁藤斎浩会長 |
| 1. ゲスト・ビジター紹介 | 仁藤斎浩会長 |
| 1. 食前の感謝 | 小澤嘉道君 |
| 1. マイタイム | |
| 1. 各委員会・書記・会計・事務局報告 | |
| 1. 出席率スマイル報告 | |
| 1. 閉会の挨拶 | 高野 亨君 |
| 1. 閉会点鐘 | 仁藤斎浩会長 |

長くて厳しい寒波が漸く終わったと思ったら、日本にとってそれ以上に恐ろしく、厄介なトランプ難破が押し寄せてきそうだ。米大統領の強引な施策に世界中が困惑しているが、4月に予定されている高関税はもはや避けられそうにもない。「日本は他の国とは違う」などとのたまう石破総理の「寝言」などどこ吹く風だろう。カナダやメキシコに課した関税を一か月わざと猶予して両国から米に有利な条件を引き出した手腕は、政治家と言うよりも辣腕な商人だ。そうまでして米国の国内産業を守ろうとして、かつての黄金のアメリカが蘇るだろうか。高関税と言う言わば劇薬の効き目だって何時かはその効能が落ちる日が来る。それまでに米産業の国際競争力が世界水準となれるか？US スチールを見れば察しが付くだろう。然り乍らウクライナ支援の見返りにレアアースを要求するなど、米産業復活の為にとんでもない発想をするのは、もはや独裁者化？した人間のやる事は想像がつかない。

例会終了後役員会を開催します

3月 Happy Birthday

該当者なし

2月例会報告

在籍会員	9名	例会出席者	7名	スマイル基金	7,000円	CS基金	円
休会会員	1名	出席率	78%	スマイル累計	33,000円	CS累計	円
担当主事	1名	ゲスト	1名	ビジター	名	総出席者	8名

2月例会報告

2月例会は会長急用の為欠席となり急遽増田副会長による開会点鐘、鈴木君の開会の挨拶があり2月例会は開催されました。ワイズソング、ワイズの信条、各主題の唱和のあと、増田副会長の会長挨拶があり、仲澤君の食前の感謝で会食となりました。



金井CS委員長から佐野先生に支援金の贈呈

食後、本日のゲストの岳陽中学校の佐野優貴先生より「第29回富士ワイズメンズクラブ杯争奪富士市中学生招待サッカー大会」の概要を説明していただきました。その後先生たちが実施している「富士市サッカー協会スクール」について、その現状を伺いました。学校に於ける部活の問題がこの地域サッカースクールを誕生させたようです。このようにと熱心な先生方が地域のサッカーを、青少年の夢を、支えているのだ、と感じ取りました。私たち富士クラブもその一助となればこの大会も一段と力が入ります。出席率、スマイル報告があり閉会の挨拶、閉会点鐘で2月例会は終了しました。

2月役員会報告

例会終了後、引き続き役員会を開催しました。

1. 次期副会長について

具体的な候補者が出ましたが決定には至らず3月役員会に持ち越しました。

2. 富士山YMCA感謝祭について

金井担当主事より説明がありました。

5月18日例年どおり開催、富士クラブは綿菓子で出店予定。

3. 京都エイブルクラブが5月に東山荘に来る件

エイブルクラブから詳細が来てから検討することになりました。

4. その他

中学サッカー大会の協力要請の件。

一人でも多くのメンバーの参加を要望。



【誌上マイタイム】

中学校のクラブ活動

吉澤廣美

2月例会に中学生招待サッカー大会の説明に担当の先生に来ていただきました。その中で話されていたことですが、富士市内中学校の部活動は週に3日で4時30分までには終了、土、日はどちらかを休みにすると決められているそうです。他の4日間は休みになります。これも教員の働き方改革の一環でしょうが、部活に燃えている生徒にとっては物足りないことでしょうか。将来は地域の人に部活指導をお願いするとか、有料のクラブチームに各自入って上達を目指すなどが考えられるそうです。

学校から部活を切り離す方向で良いのでしょうか？学校教育の中での勉強と部活、両方で人間形成に多くの影響を与えていると思っています、特に人間関係や団結力など学ぶことは多いです。教員の中にはもっと部活に力を入れたいと思っている先生もいると聞いていますが、反面、顧問の担当部活の得手不得手がありますので熱心な先生ばかりではないとは思いますが、しかし自主練習などの名目で生徒にもっと部活に携わる時間を与えることはできないのでしょうか？

京都エイブルワイズメンズクラブ

35周年記念例会に参加

2月22日、京都エイブルクラブの創立35周年記念例会がホテルオークラ京都で開催され、仁藤会長と増田副会長が参加しました。西日本区から、京都部から、そしてIBCの韓国TAEJIN JUNG-DO CLUBから4名と総勢181名が参加し、創立35周年を盛大に祝いました。圧巻は4名の新入会員の入会式でした。上澤会長によると、35周年記念例会に向けて何とか会員を30名にしようという目標を立て、会員増強を図りこの度の4名入会で30名に達したそうです。この素晴らしいパワーには感服しました。富士クラブも見習いたいねと、仁藤会長と語りながら帰路につきました。



↑上澤会長の挨拶

↓仁藤会長と増田副会長



第29回富士ワイズメンズクラブ杯 富士市中学生招待サッカー大会

令和7年3月1日・2日、富士市内外26チームが富士川河川敷グラウンドで熱い戦いを繰り広げました。



岳陽中学校キャプテンの選手宣誓で大会は始まった



開会式に臨む選手の皆さん



パスを受ける選手



懸命にボールを追う選手たち



富士山も背中を押して応援しています



グラウンドに靡く大会優勝旗



優勝した藤枝中学校に仁藤会長より優勝旗が授与された

大会成績

優勝	藤枝中学校
準優勝	焼津・東益津・大村中連合
第3位	岳陽中学校
第3位	三島山田・錦田中連合
2位リーグ1位	富士南中学校
3位リーグ1位	岩松中学校
4位リーグ1位	富士川第一中学校

2024-2025 年度

次期会長・部役員研修会開催される

3月8・9日2日間、毎年恒例の上記研修会が東山荘において開催されました。富士クラブからは増田次期会長が参加しました。1日目は次期理事方針並びに次期事業主任の方針が発表されました。因みに次期理事は十勝クラブの山下真ワイズです。富士山部からは伊東



クラブの榎本博ワイズが書記で、熱海クラブの深澤勇弘ワイズが地域・Yサ事業主任で紹介されました。続いてプログラムⅡは、部ごとに分かれてグループディスカッションが開催されました。テーマとして、「ワイズは何をする組織か」そのために「やりたいこと」そして「そのためにすべきこと」、「それをするために他に何かあるのか」等、勝又次期部長を囲み各クラブ次期会長と次期富士山部役員が忌憚のない意見を出し合い熱のこもった討論となり、時間が足りないくらいでした。プログラムⅢは各部のディスカッションの発表がありました。地域的、規模的に各々が抱える事情や良い所、劣る所など、参考になる発表があり今後の富士クラブに



も取り入れていきたい事例が多々ありました。夕食懇親会が総勢72名が参加して1号館食堂で盛大に開催されました。その後、恒例の「部長を囲んで」ではアルコールが存分に入ったメンバーがぶっちゃけた意見やクラブの悩み、自慢話に花を咲かせました。まだまだワイズも捨てたもんじゃない、と感じました。翌日もあるので後ろ髪を引かれる想いで眠りにつきました。2日目はグループディスカッションで、前日の話し合いを受けて再度の話し合いで更に深堀するというテーマでした。「部の簡素化」について話し合いました。富士山部においては昨年より主査が2つに統合され、そのため4名の主査が2名となり会員減少が進行する今、キャビネットを組織するうえで非常に助かります。これからは



1号館から眺めた雪の東山荘

さらに簡素化は必要ですが、部則に則った中での簡素化は、部並びに各クラブのメンバーの意見を十分に取入れ、これからのワイズメンズクラブの指針となるようにしていかなければならないでしょう。他の部も同様な悩みを抱えていることが発表の中で垣間見られました。まとめとして、山田理事はワイズメンズクラブの「変革」が必要だ、ということを力説していました。「人に命があるように組織にも寿命がある、そのためにワイズも生まれ変わる変化が必要だ」・・・と。昨夜からの雪が10センチ位積もった極寒の東山荘で2日間にわたる熱いディスカッションは、帰る頃には、この熱気で雪が解けはじめ、参加メンバーはそれぞれ帰路につきました。(増田 記)

富士山YMCA便り

富士山 YMCA 金井 淳

今年も富士山 YMCA では、3月1日～3日の期間に横浜 YMCA の新入職員研修を実施しました。

当日は31名の新入職員が参加し、YMCAの組織理解やマナー講習などの社会人として必要な研修、共に働く仲間たちとのチームビルディング、さらにキリスト教主義団体の職員としての理解を深めるための富士宮教会訪問などを行いました。

私も、YMCAの国際・地域活動を理解するセッションの中で、10年前に派遣されたカナダ・バンクーバーYMCAでの経験についてお話ししました。また、私自身も今年4月で横浜YMCAでの勤続11年目、富士山YMCAでの勤務は9年目を迎えます。

新入職員時代のことを思い出し、初心を忘れず、YMCA職員として社会や地域に求められる働きをしていきたいと改めて感じました。

